

ニューヨーク模擬国連に参加しました

本校では学外活動への挑戦として世界各国の模擬国連に生徒たちが参加しています。本日は5月7日（火）から5月12日（月）まで本校の高校生が参加したニューヨーク模擬国連大会の様子と参加した生徒の感想をお伝えいたします。

生徒たちは今回のニューヨーク模擬国連に向けて昨年の11月頃から準備をスタートしました。まずはスピーチの練習です。自分の国の立場を伝えるスピーチ、自分の国が様々な視点からどうこの問題を解決しようかというスピーチ等等、あらゆる状況を想定して自分たちの意見を伝えるためのスピーチの練習を行いました。

次にエッセイの準備です。模擬国連では事前に自分の国の立場のエッセイを書かなければなりません。今回はニュージーランドの大使として参加したため、ニュージーランドという国はどのような国なのか、国際的にどのような立場にあるのかなど、徹底的に調査をし、エッセイを書き上げました。

模擬国連では事前の調査、情報収集が極めて重要な意味を持ちます。生徒たちは以下の項目を約半年間にわたって準備してきました。

- ・自分の国のスタンス（立場）を国の過去の活動から把握します。
- ・所属する機関から配付される課題について説明されている紙を参照し、その課題について今まで担当国がどのような行動を起こしたか調べます。（制定法など）
- ・課題を様々な視点から徹底的に調査します。（ex. 政治、環境、セキュリティ、軍事等）

どれだけ最新の情報を本番の議論で提供できるかが重要となります。

このような経緯を経て生徒たちはいよいよアメリカに向けて出発しました。ニューヨークの観光などを行った後、旅程3日目から模擬国連に向けた活動が開始されます。

3日目の午前「模擬国連事前オリエンテーション」に参加しました。模擬国連に参加するにあたって、必要な基本知識に関する説明などを主催者側からレクチャーしていただきました。

旅程4日目からいよいよ3日間にわたる模擬国連大会が始まりました。コミティーごとに異なるトピックが与えられ、様々な国からたくさんの delegate が集まります。緊張している生徒もいれば、中には何回もニューヨーク模擬国連に参加しているベテランの生徒もいました。模擬国連が正式に始まる前に、周りに座っている参加者たちに担当する国とそのスタンスを一組一組に聞いている人もいて、生徒たちはその積極的な姿勢に驚き、大いに刺激を受けました。

模擬国連は、国を代表して現在社会に影響している問題をトピックとし、その解決策をブロック（考え方が類似している国同士のグループ）で集まり議論し、ブロックごとに異なる紙に書いて提出します。その後チェア（模擬国連を仕切る人たち）が各案の決をとり、その案が通ったかどうかが決めます。

最終日には、ニューヨークの国連本部でクロージングセレモニーが行われました。国連本部は大変広く、様々な国の国旗が置かれていました。テレビの画面で見ていた風景を生で見ることができ、生徒たちにとっては大変貴重な体験となりました。

参加した生徒たちの感想を掲載いたします。

K.K.さん

海外の模擬国連に参加したのは今回が初めてでした。一日目が始まると、海外の生徒はみんな積極的に刺激を受けました。自分も頑張って国の立場や解決案を他の国にしっかりと伝えたいという気持ちになりました。二日目はレゾリューションの提出に向けて話し合いました。自分よりも経験や知識のある生徒が中心となり、ブロックをまとめているのを見て、いつかは自分もブロックをまとめたいと思いました。今回、NYMUNに参加できたことはとても貴重な体験になりました。今後の模擬国連でもこの経験を活かし、更なる成長につなげたいです。

Y.K.さん

今回は、私にとって初めての海外での模擬国連でした。NYMUNには経験者がたくさんいて、模擬国連での成功の仕方を一緒にの会議に出ることで、しっかりと学ぶことが出来ました。ニューヨークに着いてから数日は、少し観光もしました。その中で、アメリカ人の日常を理解する機会にも巡り会え、またアメリカ人の優しさも感じる事ができました。これらの経験により、自分で考えたことをその場で英語にして外に出す力が身に付き、更なる英語への自信に繋がりました。今回の機会を、今後の模擬国連での活動に活かしたいと思います。

M.S.さん

There is no doubt that I was very nervous at first, but I gained confidence over the two days and by the time that the conference was over, I was filled with glee. I had a pleasant time of interacting with many people and presenting our country's opinion to others. At the same time, I was stimulated by others who were very experienced with MUN. They were able to help everyone bring together to make a resolution.

This experience was just a beginning. I hope that in the future I can go to more conferences and experience more.

